

問 1 社会貢献、地域貢献活動（地域課題・社会課題を解決するための協働の取組）を進める為に何が問題・課題となっていますか？

設問 1 選択肢		合計数 (複数回答)
ア	社会貢献・地域貢献に取り組むメリットがない。	1
イ	業務で手一杯で、新たな貢献活動に取り組む人的・時間的・財政的余裕がない。	21
ウ	組織のトップに意識がない。組織の合意が得られない。	1
エ	取り組むべき地域課題・社会課題がわからない。	11
オ	どのように取り組んだらよいか、取り組み方がわからない。	12
カ	地域や社会から何を期待されているかわからない。	6
キ	協働する相手が見つけれない。	6
ク	地域貢献・社会貢献活動がきちんと評価されていない。	7
ケ	その他()	2

ケ その他(内容)
県内に居住していないため日常のヒアリング等ができにくい
家族が個単位で生活しているケースが多く、老幼の交流や地域交流を深めていく必要性あり

問 2 1の問題・課題を解決し、地域課題・社会課題を解決するための協働を進める為に何が必要か？

回答(自由記述)	
17	意識の向上
16	休日の活動でも参加したくなるような興味と魅力を感じられる催しの企画。活動が個人の生活にとっても意味を持っているとの位置づけ。活動が企業活動のプラスになるような施策を行っていただきたい。
15	地域の課題や取組に関しての広報活動が必要
14	ボランティア休暇等の整備の充実(法人評価につながるもの)法人として取り組む際のメリット。
13	具体的な情報の提供
12	今やっていることだけで精一杯
10	各組織(体協など)に他の成功例を提示。簡易な貢献活動を具体的に提案(10人単位)活動結果を評価するため、表彰制度の導入と予算づけ
9	「協働」についてもっと解りやすく説明してほしい
8	地域や社会との話し合いの場を設ける事
7	協働する相手の紹介、マッチングをお願いしたいです
6	協働のモデルケースを示してほしい
5	地域其々に特徴があり、長所となる所は努力を重ね、先進のものを作り上げる事。他地域との差異により価値観が生まれてくる。短所となる所は地域の危機として取り組んでいく事町内会長を初めとして勇気なる行動と決断が必要と考える。リーダーは自由と保身に囚われず斬新な行動が必要。
4	弊社は水道の仕事をしていますが、災害時の水道復旧時に関し、業界全体レベルの防災協定には参加させて頂いていますが、これを地域(町内)等と協力して防災協定の様なものを結ぶとか、防災訓練に参加するとか何か出来るようなことがあるように思うのですが、どうも形がぼやけているので企業・町内会長双方に教育、指導し、そして企業と地域の協議の場があればと思います。
3	一人ひとりが協働のまちづくりの取組に対し、考える時間をつくり意見を交わし、高い目標をもち、より良いまちづくりを実現するためにはどうしたらいいか、積極的に考え実行していく事が必要だと思います。
2	社会・地域が求めている行動と、する人の想いにギャップがある。とかくボランティアは自己満足を求める場合がある。本来自主活動であるが社会・地域要求を発信する仕組みづくりが必要
20	どのような活動を行っているのかまず知ってもらう事が重要。個人がまず社会貢献、地域貢献に興味をもつこと。
19	貢献活動の内容や募集の積極的な情報公開。結局は思いがないとできないと思いますので、情報公開して間口を広げてたくさんの人に参加して頂いて啓蒙・啓発する活動が必要。
18	自治体を中心となって小学校区等による清掃活動、交通安全活動等に参加可能な企業を募り、登録を行う。貢献活動を自治体中心に計画し、周辺住民等への開催時期の告示を行い、企業、一般の方々協働して活動を行っていく。
22	何が問題であり課題とすべきことを把握できる情報がほしい
1	中間支援組織、コーディネーター業務への評価と収入を増やす仕組み
23	地域・社会の課題を調査し、この課題解決に向けて貢献活動を実施する。活動を行った企業に対しては減税を行ったり、入札で有利になるような加点制度を作る等、を行うと真剣に企業が取り組むと思う。
25	人づくりが大切。市民が参画しやすい仕組み作りが必要
26	時間・人材
24	地域住民の意識改革が必要である。
27	自社にはない知識や技術を持つ専門家の派遣。協働相手と出会う場、とり持ち役の設置
28	弊社では少人数で客先が官公庁です。法人会でも地域の清掃もありますが社員も市内ばかりでなく協力するべきとは言えず(イ)に0をさせていただきました。

29	業務をしながら取り組める何かがあれば明示してほしい。
30	現在の業務範囲内で出来る活動か、ちょっとした工夫で解決できる。制約を洗い出してアドバイス、サポートしてくれる中間支援機関
31	社会貢献、地域貢献は知っていても協働条例の認知度は低いと感じる。また活動の取り組み方、内容についても解らない事が多い。市民、中小企業・団体を対象としたPRを実施してはどうか。
32	活動に対して企業としてメリットを見出す事などかと思えます。

問3 条例見直しについての意見

回答(自由記述)	
14	法人評価制度、経営事項審査入札参加時の優遇制度
10	講演会や講習会を50人以内で開催できる様ふれあいセンター等の空室状況を各種団体に公表する。利用可能な市の予算を地域センターに公示する。
5	地域のまちづくりを考えた時、行政は町内会の意見を取り上げることが基本としていますね。町内会の意見が本当に正しいのでしょうか。地域の実力者の考えが強く民意が民主的に通る地域システムなのでしょうか。個人の意見も正しく反映されるチャンスがあってほしいものです。
4	水道の仕事をしていますが、何か協力をしたことが地域の人たちに少しでも「わかる・目立つ」配慮があればいいと思います。地域貢献は企業のスタンプラリーのようになってはいけませんが、地道なことで協力している企業がわずかでもイメージアップにつながる、地域の人たちに企業名を覚えてもらえる程度のものであれば、積極的に協力したい企業は多いと思います。
2	ボランティア活動は楽な事ではない事に意義があり、自己満足ではないことに本当の満足感を得るといった認識の普及が必要。私は町内会の役員をしているが、耳触りの良い意見が多い。本当の社会貢献とは企業の好感度、知名度向上の為にあるのではないが、目的にしている企業が多いのでは。
20	もう少し参加し易くなるといいのではないか。このような条例が平成13年に施行されていたことを今回知った。まず知ってもらう事、情報の拡散をしないと活動は大きくならないのでは？
19	難しすぎてよくわかりません。何がしたいのかビジョンが見えてきません。
22	決まり事・ルールを作りすぎると足かせとなって生活しにくくなる。最低限の条例で簡素であっていい。
1	取組をしている団体などの継続的な発信する仕組みがあればいいと思います。県内外のニーズを拾い工夫を持ち寄れるようにしてほしいです。(大学が核となるまちづくりへの参画)
25	協働事業が行いやすいように様々な条件整備と支援が必要
26	勉強不足でそもそも「協働のまちづくり条例」を掌握しておりません。もっとPRされればいいと思いました。
27	団体間を取り持つ専門スタッフを設けてほしい。自らアクティブに動けるような身分で相談窓口にただ座っているだけのような役職なら不要
30	ESD市民活動市民センターの拡大、人材育成
18	自治体を中心となって小学校区等による清掃活動、交通安全活動等に参加可能な企業を募り、登録を行う。貢献活動を自治体中心に計画し、周辺住民等への開催時期の告示を行い、企業、一般の方々協働して活動を行っていく。
31	第8条にある「本市のまちづくりの基本目標の実現に～できる」は具体的にどのような目標、内容が解りにくい。